

第二次草加市環境基本計画（第二版）パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集

(1) 募集期間 令和元年12月20日（金）から令和2年1月20日（月）まで  
（32日間）

(2) 募集結果 提出意見 27件（8通）

2 寄せられた意見に対する市の考え方

第二次草加市環境基本計画（第二版）（素案）に対し募集期間中に寄せられたご意見について、次のとおり市の考え方を公表します。

No.	ご意見の概要	市の考え方、対応
1	草加の原風景だった溜池も田んぼも遠い遠い過去の記憶になり、草加市は住宅と工場と倉庫の街になりました。柿の木地区の田んぼも工場地帯になりつつあります。	現在、残されている田んぼにつきましては、生産緑地地区指定などの取組に努めてまいります。
2	水質浄化対策の推進では、公共下水施設によって伝右川がきれいになっていますので、引き続き、市内の河川浄化に努めましょう。	今後もより良い河川水質となるように取り組んでいきます。
3	「水辺に親しめる機会」が記載されていますが、特に猛暑時などは「うるおい」もほしくなります。むずかしい点もあるかと思いますが、ぜひ工夫・検討してみてください。	いただいたご意見の趣旨は、「親水空間の創造・維持管理の推進」に関する取組の中で参考とさせていただきます。
4	気候変動適応策の推進や第4章温暖化対策は地球規模の問題ですので、市内でできることは市内で努力できるよう工夫、周知・呼びかけをしましょう。	エコライフデイなどを通じて市民の皆様への周知に努めていきます。

5	地球環境問題は深刻なので、廃棄物の発生抑制、再使用、特に廃棄物の発生抑制を進めることが大切です。	過剰購入の抑制や食品ロス削減に向けての意識が高まるよう、周知・啓発に取り組んでまいります。
6	後世に持続可能な水と緑が残るように、水環境を第一に据え、河川・用水・排水路等を汚さない方法や治水の面からの水の維持・管理に成果が出るように予算・人材を集中して使う。	引き続き、関連機関と連携して、効率的に取り組を進めていきます。
7	P14 環境目標 1 について、「今後、水とみどりを生かしたまちづくりをさらに推進し、」を「今後、生物多様性の保全に配慮して、水とみどりを生かしたまちづくりをさらに推進し、」に変更をお願いします。	いただいたご意見の趣旨を参考に、本文を修正します。
8	P16 コラム綾瀬川過去、現在、未来「コイ、フナをはじめとする多くの魚が戻ってきました」とありますが、このような抽象的な表現では具体的にどれほど戻ってきたのか減ったのかが市民には分かりません。過去のデータ（綾瀬川が全国ワースト 1 の時の状態）と現在のデータを記載してください。	過去から現在までの水質の改善状況について、河川の水質汚濁の基準になる BOD の経年変化グラフを添付いたします。
9	P17 環境目標 2 における短期達成目標の「ビオトープ保全活動参加数」について、注記では市内ビオトープの概要や意義・活動状況がわからないので、市内 3 か所のビオトープについての説明を掲載すべきだと思います。（生物多様性そうか戦略を参考にコラムとして 1 ページ）	P18 にコラムによるビオトープの説明を記載しています。
10	P17 身近な自然の保護と創造の短期目標ビオトープ保全活動参加者数の現状値が入っていませんので入れて下さい。	ご意見のとおり、ビオトープ保全活動参加者数の現状値を把握し、追記します。

11	P22 環境目標 5 の短期目標の目標値についてエコライフデイに取り組む市民の数では年度によって分母が変わるので取組率にすべきです。	第四次草加市総合振興計画の実施計画で、エコライフデイに取り組む市民の数を目標値としているため、整合を図るために、原文のままとしますが、草加の環境での公表の際には、取組率も併記して公表いたします。
12	P22 環境目標 5 のコラム「草加環境推進協議会の活動」の中に、草加環境推進協議会と市の協働で地域の生物多様性推進の一環としてビオトープ管理活動を行っているので載せて欲しい。	ご意見のとおり、本文を修正します。
13	P25 のコラム「持続可能な開発目標」について、P24 と同じ SDGs 表を載せる必要はない。具体的な目標である 169 のターゲットから草加市環境基本計画に関係したターゲットを選び載せるべきです。 各環境目標に併記してある SDGs のロゴ内の文字が小さくて読めないので、読めるように工夫して欲しい。	P24 では、第二次草加市環境基本計画（第二版）に係る目標のみの記載となっており、P25 では、全ての目標を記載しています。環境に関連する目標だけでなく、全ての目標について、市民の皆様にご覧いただくために、原文のままとします。目標に関連する主なターゲットにつきましては、資料編に追記いたします。各環境目標に併記してある SDGs のロゴ内の文字につきましては、見やすくなるように工夫します。

14	P28 第3章 1. 水環境の保全と創造 取組方針 1-6 について「一年を通じて水辺の景観や環境の保全を図るため、希少種に配慮し（以下略）」とありますが、単に希少種というあいまいな表現でなく、キタミソウを保護していくことを明確にするため、「希少種」の部分を「キタミソウなど希少種」に訂正してください。	ご意見のとおり、本文を修正します。
15	P29 環境施策の柱の中に「親水空間の創造」という項目があります。取組方針の中に「多自然川づくりの推進」と書かれています。多自然川づくりとは、どのような川づくりを目指しているのか説明をお願いします。	河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息環境及び多様な河川景観を保全・創出するための川づくりを目指しています。
16	P29 取組方針 2-5「健全な水環境の確保と保全に向けて、様々な生きものの生息状況を調査する」とあるが、「健全な水環境の確保と保全に向けて、様々な生きものの生息状況を調査し、結果を分析し、健全な水環境確保の推進をいたします。」としてください。	いただいたご意見の趣旨を参考に、本文を修正します。
17	P30 取組方針 1-1 について、地域の生物多様性として抽象的な遠い地域なものになる様な表現でなく、出来るだけ具体的な表現となるように、草加市又は地域の生物多様性にしてください。	草加市における生物多様性の危機の説明や保全活動等については、もちろん実施していきますが、本文に草加市等を追加することで、市内だけに限定した取組としての解釈の齟齬が発生しないようにするため、原文のままとします。

18	P32 コラム「クビアカツヤカミキリ確認地点図」は2018年度の状況図です。今年度（2019年度）は被害地域が拡大しています。新しい資料にして下さい。	添付していただいた資料を基に、2019年度の被害地域を反映します。
19	P35 について、地球温暖化防止活動補助金の対象である「高効率機器」「次世代自動車」について、同ページ下段の注釈あるいは資料6用語集に、「高効率機器」については、家庭用燃料電池（エネファーム）、太陽熱利用給湯器等、「次世代自動車」については、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車等のように具体的な内容を記すことを提案します。	<p>いただいたご意見の趣旨を参考に、具体的な機器等がわかりやすいように用語集に追記いたします。</p> <p>※パブリックコメント後の修正により、資料6用語集は資料7用語集に変更しています。</p>
20	P35「建築物の新築・改築時においては、エネルギーの地産地消（創エネ・省エネ・蓄エネ）等、エコ建築物への指導・誘導を図り、市街地の低炭素化を推進します。」について、「建築物の新築・改築時においては、エネルギーの地産地消（創エネ・省エネ・蓄エネ）や面的利用などエコ建築物への指導・誘導を図り、市街地の低炭素化を推進します。」とエネルギーの面的利用についても言及することを提案します。	いただいたご意見の趣旨を参考に、今後の課題として検討していきます。
21	P39 環境施策の柱 3-3 取組方針 1-1「生物季節や生息分布域の変化など生物多様性への影響を把握するため情報収集を実施します。」とあるが、具体的にどのような方法で、いつ情報収集を行うか教えてください。	毎月実施しているそうか生きもの調査を中心に、市内の生物季節や生息分布域の変化などを把握するとともに随時、最新情報の収集に努めていきます。

22	<p>P39 気候変動適応策の推進における取り組み内容「全国各地で頻発する予測困難な集中豪雨等による被害の軽減に向けて、浸水に関する情報や避難場所の周知、市民の防災意識の向上を促進していきます。」の部分で、大規模停電を踏まえ停電が発生しても一定量の電気を使用できるような自立・分散型電源の確保について検討していただきたいと考えます。</p>	<p>今後の施設の改修や建築の際は、自立・分散型の施設となるように再生可能エネルギーなどの導入を検討していきます。</p>
23	<p>P43 「学校における環境教育の推進」の担当の中に、環境課が入っていません。学校ビオトープやエコライフのチェックシートなど足掛かりになるものは既にありますので、是非環境教育に力を入れてもらいたいと思います。</p>	<p>ご意見いただきましたように、担当課に環境課を追記し、エコライフデイチェックシートなどを通じて、教育委員会と連携した取組に努めます。</p>
24	<p>P44 コラム「草加市の環境学習」について、草加市の環境学習は市民団体を中心に①学校（小・中学校）②市民対象で行っています。</p> <p>①小中学校対象は学校プールのヤゴ調査、学校周辺の自然観察、地域の自然と奥日光の自然について等の出前講座、あやせ新栄ビオトープ管理活動（新栄中学）、②市民対象としては環境についての市民研修講座、エコクッキング講座、そうか生き物調査会、③他にあればそれも加える。</p>	<p>いただいたご意見の趣旨を参考に、内容を追記いたします。</p>
25	<p>P45 環境施策の柱5-2：環境に配慮した行動及び生活の実践における取組方針2「市民団体やボランティアの次世代の人材育成を図ります。」を「市民団体やボランティアの活動を支援し、次世代の人材育成を図ります。」に変更をお願いします。</p>	<p>ご意見のとおり、本文を修正します。</p>

26	P64 の家庭部門の「高効率な省エネ機器の普及」の取組例として、地球温暖化防止活動補助金の対象である「家庭用燃料電池（エネファーム）、太陽熱利用給湯器」等を記すことを提案します。	いただいたご意見の趣旨を参考に、具体的な機器等がわかりやすいように追記いたします。
27	P64 の「省エネ性能の高い設備・機器等の導入促進」、業務部門の「高効率な省エネ機器の普及」の取組例として、「コージェネレーションシステム」を追記いただきたいと思います。また、本計画（素案）では資料6用語集で「コージェネレーションシステム」の解説が割愛されていますが、現行計画（資料編5用語解説 P39）と同等に記載いただきたいと思います。	ご意見のとおり、コージェネレーションシステムについても取組例に追記します。また、語句の解説につきましても用語集に追加いたします。 ※パブリックコメント後の修正により、資料6用語集は資料7用語集に変更しています。